



リステラス星圏史略  
古資料ファイル  
0 - 2



( 四 界 神 話 )

( 発掘整理中 )

霧樹里守 & 土岐真扉

(四界神話)

---

( 四 界 神 話 )

『創界記』  
一四界門書一

[創界記 -四界門書 - I](#) 2006年3月26日 [連載 コメント \(6\)](#)

はじめに四柱の神々があった。  
長姉たる姉神。  
長兄たる兄神。  
次姉たる妹神。  
末子たる弟神。  
四つ柱の神々は、それぞれに眷属を招集した。

[創界記 -四界門書 - II](#) 2006年3月27日 [連載 コメント \(5\)](#)

四柱の神々と眷属は四界を創始した。  
姉神の統べる閉球浄界。  
兄神の統べる閉球洞界。  
妹神の統べる開地平界。  
弟神の統べる開地球界。  
四界はまた一つの大界でもあった。

[創界記 -四界門書 - III](#) 2006年3月27日 [連載 コメント \(1\)](#)

四界は相往来し互いに栄えた。  
閉球浄界は学究と技芸を愛し、  
閉球洞界は武勇と権勢を誇り、  
開地平界は歌舞と自由を好み、  
開地球界は進化の万華を選び、  
日々は永遠に続くと思われた。

[創界記 -四界門書 - IV](#) 2006年3月28日 [連載 コメント \(1\)](#)

兄神は姉神を恋慕した。  
姉神は邪欲を嫌悪した。  
妹神は嘆き憂いて諫め、

弟神は冷笑し傍観した。  
兄神は姉神の純潔を汚し、  
姉神は永の眠りについた。

[創界記 -四界門書- V](#) 2006年3月28日 [連載](#)

妹神は深く悲嘆し兄神を責め立てた。  
兄神はこれを疎んじ自ら軍勢を率い、  
穏やかなる開地平界に侵攻蹂躪した。  
かくて四界の絆は断たれ、  
界峡月女神の監視の下に、  
四界の渡橋は閉ざされた。

# 『 大地世界の神話 』

一 楠木律子による聞き書き 一

第 二 夜

のちのちの世に大地界を訪れた球地人《楠木律子》は、  
その手記のなかでこのように大地の神話を書き残した。

「大地世界の神話」聞き書き・一

昔々、四世界の元となった〈界卵〉を「産んだ」のは、始源界の女神《わんがまあま》。

その一の球を預かったのが《リースヒェン・サラル》、叡智界の女神。

その二の球を拝領したのが《グ・アヒィ・ギルグ》、暗洞界の男神。

その三の球を賜ったのが、我らが大地の主女神、《マライアヌ・デア・ドライム》。

その四の球を任せられたのが、末弟、と呼ばれる《ていあす・らある》。

のちに四界の界境監視に配置された仮の守護神が、月女神《レ・リナルディ・アイム》。こ  
の神は始源神《わあがまんま》の腹心で、ここまでが「掌界神」という位を持つ。

「大地世界の神話」聞き書き・三

神界において女神マライアを親しく教え導いていた姉神リーシェンソルトは秩序と純潔を重んじる性格で、豊穡にして自由な大地世界では神族と人族の恋慕も混血もありという放縦を快く思わず大地への訪いも途絶えがちとなり、ひきこもって天球界の奥深く、学求と瞑想のみの日々を過ごすようになった。

これを不興としたのが闇洞界ボルドムの長、男神グアヒギルグである。この神はかねて女神リーシェンに邪恋を抱いていたが、清冽な女神は鬪争と流血を好む武勇の神を忌避し、暗洞界に足を踏み入れることは絶えて無かったため、男神が女神にまみえる機会といえば、ともに大地世界の祝祭などを訪れるときしか無かったからである。

女神がますます気むずかしい日々を送り、恋情に耐えかねた男神が天球界を訪問すると冷たく門前払いを喰らうばかりで、ついに逆上して暗洞軍を率いて境界を侵し、力づくで攻め入り、これを遮ろうとした天球族らを情け容赦なく血祭りに上げ、女神のこもる奥城へと押し寄せた。

あまりの掟破りに女神は憤って即座に天球界の存続を不可とし、現界での写し身を放擲して魂の輪廻回廊へと神去り帰還してしまった。男神がこれを嘆き悲しみ、女神の亡骸を抱いて身も世もなく泣き喚き、おのれの苦しみに対する報復として、天球界をことごとく焼き滅ぼせと自らの軍に命じた。

はじめ闇洞界軍はまっしぐらに奥の院をめざし、そこから逆に攻め広がってきたので、光球界の周辺部において自力で界間を渡ることのできた者たち、とくに翼光族と飛仙族らは、危急を告げ救いを求めるために急ぎ大地世界へと界廊を渡り落ちのびた。

ことを聞いて驚愕した大地女神が光球界へ向かい、兄を厳しく諫めると、逆上した兄神は、光球界を瞬時に殲滅せしめた闇洞大軍を、血に飢えた勢いもそのままに、大地世界へと送り込んだ。

大地に戦の備えなどなく、あるのはただ器楽と舞踊を愛し楽しんで生きるための大地の十箇条の一、「食べないものは殺さない」という基本の掟だけであった。

「あんな不味そうなもの、食べられない！」

押し寄せてくる敵の大群をみて神々と人々は慨嘆して一斉に逃げ出し、動くことを厭う樹人族たちもこのときばかりは一斉に根を抜き枝を振って大地の上を疾駆して逃げ出した。

もちろん力あるものは振り向き振り向きして強風を起こし激流を涌かせ、大地を裂き、断崖絶壁を穿って押し寄せる闇軍族を追い払い攻め防いだが、数の極まりを知らぬ敵たちをひとりも殺すことなく防ぎきることは不可能だった。

兄神は泣き叫ぶ妹神の腕を掴んで引き留め、そのさまを見せて楽しみ哄笑していた。



逃げ遅れた大地の一族の弱い群を救出するために馳せ戻った強い者らが、追撃する闇軍に追いつかれて討ち滅ぼされた。その時、敵陣に倒れようとする大地女神の夫をとっさに、水神が庇い、落命した。

事態の収束を太神マンマワァガに訴え請うた。太神は裁定者として高位の女神《レ・リナル・ディ・アイム》を遣わし、

[「リステラス星圏史略」](#)（2014年執筆中断原稿）

2015年11月13日 [リステラス星圏史略](#)（創作）コメント (1)

リステラス星圏史略

土岐真扉

森羅万象

生々流転

## 目 次

序（はじめに）

第一章 神話時代

第二章

第三章

第四章

第五章

第六章

第七章

第八章

第九章

第十章

後記

作品のためのあとがき（＝執筆参加者座談会）

序（はじめに）

この物語は

である。

なお、協力者

この場を借りてお礼を申し上げる。

監訳： 土岐真扉

## 第一章 神話時代

後の大地世界において最も長期にかつ詳細に上古神代の物語を記録し伝承していた飛仙族ファイアルハイエムの記述《四界文書》によれば、世界の成り立ちとはこのようなものである。

\*飛仙族ファイアルハイエム → 第 章に詳述

### 第一章 第一節 四界の始まり

#### 一、《光球界》エルース・アム・アマリア

上古、時なき神々の統べる虚空天界センサリテヤの至高神マンマ・ワーガは新たなる領を開くにあたり初めに、若き神々のうち最も優れた者との誉れも高き女神リースェン・サルアラールを御前に招いた。

「新界の一をもって汝の領と為す。最善をもって治めよ」

「謹んで」

白銀の女神はつつましく膝を折って拝礼し、御前を辞すと同時に最も優れた天翅族らを急ぎ集めて告げた。

「かねて思量のごとく遅滞なく手配せよ」と。

光り輝く天界のしもべらは繊細な翅翼を広げて飛び立ち、一の領の央におおいなる光の繭をつむぎあげ、その聖なる内界を万事清浄によどみひとつなく整え、聖にして静である学究の大府と為した。

この界に属すること許されたる者は、天神族、天翅族、天仙族、天羽族、またそのうちでもとりわけ靈徳に篤く学びの道に功績すぐれたると女神の讃に浴する者たちであった。

このようにして第一の界は築かれた。

斯の界を、一の界、長姉界、また、《光球界》なるエルス・アム・アマリアと称し、時にはまた《虚空に光輝を放つもの》なる美称をもほしいままにした。

## 二、《炎洞界》ボルドガスダム

時なき神々の統べる虚空天界センサリテヤの至高神、大いなるマンマ・ワーガは次に、若き神々のうち最も猛き者と呼ばれる男神、グアヒギルグを御前に召した。

「そは二の領を得ると決した。欲するまま栄華を極めよ。」

「慶んで」

漆黒の男神は胸に片腕をあて腰を折り優雅に一礼を捧げた。

時ほどなくして虚空天界の末席にまつらう若き天羽族また天獣族、天人族らのうち武勇武勲に優れたる者らが集められ、男神臨席の御前大試合にてさらにその腕を試され選び抜かれて、二の界の民の長たる座をあい争った。

闘いは七日七夜を要し、多くの武名と武勲と伝説と、また敗者と廃者と死者とを呼んだ。

やがて、勝ち残りたる者らによって七つの異なる武芸を誇るそれぞれの氏族と支族と下士族が定められ、またそのうちの央族と貴族と士族と下士族の長と、その下々なる賤の者などが定められ、また雄と雌との決まりごとなどが告げられた。

それらを率いて男神は闇洞界ボルドムと名付けられたる地に赴き、大いなる道洞穴居都窟岩洞宮を掘り開き、男神の神威たる赤き闇炎をあまねく照らし掲げて、これを二の界、長兄界、また。《炎洞界》なるボルドガスダムと称した。

この界をもって、また虚空天界のいくたりかは《武勲界》と呼び、光球界では《死壊苦界》とも称する。

## 三、《大地世界》ダイ・レム・アールス

時なき神々の長たる至高神ワーガ・マンマは次に、若き神々の末席に連なる女神マライアを御前に召した。

「そなたの望みを叶えよう。三の界を与える」

「まあ、ありがとう、ママ！」

若き女神は嬉しさのあまり至高神に飛びつき抱きつき抱きしめて、両の頬にくちづけの雨を降らせた。



# 『大地世界における四界神話』

（飛仙族による伝承）

リステラス星圏史略 I

『大地世界物語』 (四部作)

森 羅 万 象

生 々 流 転

序 章 四界神話 (概略)

上 古 神 代

\* 上古神代または神つ世と呼ばれる世界《センサリィティヤ》については、普遍自在神《マンマ・ワァガ》が治める諸々の神々の世界であるということ以外、後の世の大地世界の伝承にはつまびらかでない。

0 界産み

上界神《マンマワァガ》が子産みをなした。  
子である界は四つ子であった。  
ゆえに四界の養育を託すがため四柱の神々が選ばれ、  
それは上つ界に集える諸々の神々のなかでも、  
とりわけ秀でた若き神々らであった。

1 姉なる神

若き神々のなかでも最たる叡智をそなえしと  
称えられし姉神《リス・シヘン＝サァラ＝ル》、  
一の界の司の職を賜る。  
みずから研鑽を求める神々ら仙族ら、また聖霊ら精霊らが慕い集い、  
彩なる光なす内求の都《エルウ・シァム＝リア》と名付けられし。

## 2 兄なる神

兄神《グアヒギルグ》が《一の界》を拝領した。  
かの神は武と勇を称え、競い争うものたちの勝者を善しとした。  
祖神《マンマワァガ》より賜りし界を  
強固なる岩鋼にて覆い、不落の城塞と築き上げ、  
巖窟界《ボルドガスドム》と号した。

## 3 次妹神

三の界はいまだ稚き女神《マライアヌ・ディア＝ドライム》に託されました。  
その熱き願いを主神《マンマ・ワァガ》が善しと思し召してのゆえでありました。  
女神はおのれの未熟をわきまえ、あまたの優れた神々に力添えを請い願い、  
歌と踊りと笑いと食物の絶えることのない、豊かで美しい世界を育て、  
大地世界《ダイ・レム＝アアルス》と美称しました。

## 4 末弟神

末の弟神《ていあすらある》、四の界を治めよとの命を固辞すること三度。  
四たび重なる召還をも謝絶との返にあいて主神その由を訊ねる。  
一礼して一言返す。「面倒」なりと。  
主神、苦笑し厳命す。「なれば、さようなる界に育てよ」。  
かくて末弟神は小さき珠界をただ星の大海に放り出し、  
後の世のひとびと仮にそれを《泥球界》と呼称す。

## 5 聖 瓏

一の女神は叡知に秀で、和を尊びて、いさかいを望まず。  
清らかにして丈高き白き肌のその姿、金の髪、氷青の眸を、  
二の男神は常に欲しきと邪にて望みしを、  
一の女神、災いとしてこれを避け、  
界壁を鎖して男神とその眷属を、一の界より斥く。



## 6 惨劇

男神逆上して二の界の軍これを挙げ、  
一の界の叡知と和合を求めし神々また天人仙族らを、  
ことごとく槍に刺し蛮刀に断ち斧に割り、  
なべて血肉の湖泥とこれを化す。  
男神ついに姉神に到りて聖なるを汚さんとす。  
女神これを厭いてみずから命鎖を絶ち帰天す。

## 6 襲撃

危急、逃れ落ちし天球族、とりわけあまたの飛仙ら、大地平界の妹神に庇護を求む。  
妹神、聞き驚きて馳せ参じるも時遅く、  
息絶えし姉神を抱き嘆く兄神を、言を尽くし諫め怒り、  
男神逆上し、巖洞界軍を大地平界にさしむく。  
和と楽を求めし豊の大地にいくさの備えなく、神々、人々、ただひたすら逃げ惑う。  
妹神哭き叫び兄神を諫めるも聴かず。

## 7 終焉

ついに母界神、観かねて天月救神《レ・リナル・ディ=アイム》を遣わす。  
月女神、兄神を鎖して巖洞界奥津城に囚す。  
姉女神を失いし《エ・ルーシア・ムー・リア》これより月女神の差配下となる。  
四界をつなぐ天路閉ざされ、昔日の往来絶える。  
かくて四界神代終わり、三界たがいに孤立す。

## 第一章 神話時代 (冒頭)

\* 後の大地世界において最も長期にかつ詳細に上古神代の物語を記録し伝承していた飛

仙族ファイアルハイエムの記述《四界文書》によれば、世界の成り立ちとはこのよう  
なものである。

\*飛仙族ファイアルハイエム → 第 章に詳述

### 第一章 第一節 四界の始まり

#### 一、《光球界》エルース・アム・アマーリア

上古、時なき神々の統べる光空天界センサリテヤの至高神マンマ・ワーガは新たな  
る領を開くにあたり初めに、若き神々のうち最も優れたる者との誉れも高き女神リ  
ースェン・サルアラールを御前に招いた。

「新界の一をもって汝の領と為す。最善をもって治めよ」

「謹んで」

白朧の女神はつつましく膝を折って拝礼し、最も優れたる天翅族らを急ぎ集めて告  
げた。

「かねて思量のごとく遅滞なく手配せよ」と。

光り輝く天界のしもべらは繊細な翅翼を広げて飛び立ち、一の領の中央におおいなる  
光の繭をつむぎあげ、その聖なる内界を万事清浄によどみひとつなく整え、聖にして  
静である学究の大府と為した。

この界に属すること許されたる者は、天神族、天翅族、飛仙族、仙獣族、そのうち  
でもとりわけ霊徳に篤く学びの道に功績すぐれたると女神の讃に浴する者たちであ  
った。

このようにして第一の界は築かれた。

斯の界を、一の界、長姉界、また、《光球界》なるエルー・シャム・リアと称し、  
時にはまた《虚空に光輝を放つもの》なる美称をもほしいままにした。

## 二、《炎洞界》ボルドガスダム

時なき神々の統べる虚空天界センサリテヤの至高神、大いなるマンマ・ワーガは次に、若き神々のうち最も猛き者と呼ばれる男神、グァヒギルグを御前に召した。

「そは二の領を得ると決した。欲するまま栄華を極めよ。」

「慶んで」

漆黒の男神は胸に片腕をあて腰を折り優雅に一礼を捧げた。

時ほどなくして虚空天界の末席にまつらう若き天羽族また天獣族、天人族らのうち武勇武勲に優れたる者らが集められ、男神臨席の御前大試合にてさらにその腕を試され選び抜かれて、二の界の民の長たる座をあい争った。

闘いは七日七夜を要し、多くの武名と武勲と伝説と、また敗者と廃者と死者とを呼んだ。

やがて、勝ち残りたる者らによって七つの異なる武芸を誇るそれぞれの氏族と支族と下土族が定められ、またそのうちの央族と貴族と土族と下土族の長と、その下々なる賤の者などが定められ、また雄と雌との決まりごとなどが告げられた。

それらを率いて男神は闇洞界ボルドムと名付けられたる地に赴き、大いなる道洞穴居都窟岩洞宮を掘り開き、男神の神威たる赤き闇炎をあまねく照らし掲げて、これを二の界、長兄界、また。《炎洞界》なるボルドガスダムと称した。

この界をもって、また虚空天界のいくたりかは《武勲界》と呼び、光球界では《死壊苦界》とも称する。

## 三、《大地世界》ダイ・レム・アールス

時なき神々の長たる至高神ワーガ・マンマは次に、若き神々の末席に連なる女神マライアを御前に召した。

「そなたの望みを叶えよう。三の界を与える」

「まあ、ありがとう、ママ！」

若き女神は嬉しさのあまり至高神に飛びつき抱きつき抱きしめて、両の頬にくちづけの雨を降らせた。

(後略)

(作業用)

2015年6月6日 [リステラス星圏史略](#) (創作)

(承前前項) しつこく戻りますよ。と...

(^◇^;) )

『THE CONTENTS』

～ HerStory of Lis-Teras nebula ～

【 Sub Contents 】 【 Overview 】

- |            |                           |
|------------|---------------------------|
| 0. 四界神話    | 大地世界の東の森に棲む飛仙族はこのように語り継ぐ。 |
| 0-1. 上古神代  | 普遍自在神マンマワァガは、転生霊界を主宰する。   |
| 0-2. 転生司神  | 新たな魂群の揺籃として、新しい世界の卵を用意する。 |
| 0-3. 新神推挙  | 新たな界を司るため、若き神々から主神達を選ばれた。 |
| 0-4. 姉神世界  | 姉なる神リスシェンサラルは学識と研鑽を好む。    |
| 0-5. 兄神世界  | 兄なる神グァヒギルグは武芸と競争を好む。      |
| 0-6. 妹神世界  | 妹なる神マライアヌディアは技芸と舞踊を楽しむ。   |
| 0-7. 弟神世界  | 弟なる神ティアスラアルは何もせず、ただ眺める。   |
| 0-8. 邪恋乱心  | 兄が姉を愛した。拒まれて逆上し、諍い、憎んだ。   |
| 0-9. 大地蹂躪  | 妹が兄を諫めた。悪鬼の軍勢が大地世界を襲った。   |
| 0-10. 境界封鎖 | 上神レリナルが調停に立ち、四界の壁は閉ざされた。  |

(作業用)

2015年6月6日 リステラス星圏史略 (創作)

(承前前項) しつこく戻りますよ。と...

(^◇^;) )

『THE CONTENTS』

～ HerStory of Lis-Teras nebula ～

【 Sub Contents 】 【 Overview 】

- |            |                           |
|------------|---------------------------|
| 0. 四界神話    | 大地世界の東の森に棲む飛仙族はこのように語り継ぐ。 |
| 0-1. 上古神代  | 普遍自在神マンマワァガは、転生霊界を主宰する。   |
| 0-2. 転生司神  | 新たな魂群の揺籃として、新しい世界の卵を用意する。 |
| 0-3. 新神推挙  | 新たな界を司るため、若き神々から主神達を選ばれた。 |
| 0-4. 姉神世界  | 姉なる神リスシェンサラルは学識と研鑽を好む。    |
| 0-5. 兄神世界  | 兄なる神グァヒギルグは武芸と競争を好む。      |
| 0-6. 妹神世界  | 妹なる神マライアヌディアは技芸と舞踊を楽しむ。   |
| 0-7. 弟神世界  | 弟なる神ティアスラルは何もせず、ただ眺める。    |
| 0-8. 邪恋乱心  | 兄が姉を愛した。拒まれて逆上し、諍い、憎んだ。   |
| 0-9. 大地蹂躪  | 妹が兄を諫めた。悪鬼の軍勢が大地世界を襲った。   |
| 0-10. 境界封鎖 | 上神レリナルが調停に立ち、四界の壁は閉ざされた。  |

(作業中) ...大地世界の東の森に棲む飛仙族はこのように語り継ぐ...。

2015年6月7日 [リステラス星圏史略](#) (創作) [コメント \(3\)](#)

...ほとんど忘れていた設定...。

( ^ ^ ; )

<http://76519.diarynote.jp/200606050134420000/>

ほぼ没！ (?)

## 『 THE CONTENTS 』

～ HerStory of Lis-Teras nebula ～

【 Sub Contents 】 【 Overview 】

0. 四界神話 大地世界の東の森に棲む飛仙族はこのように語り継ぐ。

0-1. 上古神代

0-1-1. 転生霊界 普遍自在神マンマワァガ、転生霊界を主宰する。

0-1-2. 転生司神 魂とは転がり生まれ変わり成長する存在である。

0-1-3. 転生界成 新たな魂の揺籃として新しい世界卵を用意する。

0-1-4. 四界同堂 新たなる試みとして卵の界は四つに分かたれる。

0-1-5. 新神推挙 若き神々から新たな界を司る主神達を選ばれた。

0-1-6. 姉神世界 姉なる神リィシエンサラルは学識と研鑽を好む。

0-1-7. 兄神世界 兄なる神グァヒギルグは武芸と闘争競技を好む。

0-1-8. 妹神世界 妹なる神マライアヌディアは技芸舞踊を楽しむ。

0-1-9. 弟神世界 弟なる神ティアスラルは抜擢を恐れ畏み断る。

0-1-10. 再度神請 マンマワァガ再度ティアスラルに主宰を命ず。

0-2. 学究研鑽

0-3. 武芸百般

0-4. 技芸農耕

0-5. 生命観賞

0-6. 往来交歓

0-7. 亀裂不協

0-8. 邪恋乱心 兄が姉を愛した。拒まれて逆上し、諍い、憎んだ。

0-9. 大地蹂躪 妹が兄を諫めた。悪鬼の軍勢が大地世界を襲った。

0-10. 境界封鎖 上神レリナルが調停に立ち、四界の壁は閉ざされた。

訳註： 後代の大地世界ダレムアスにおいて飛仙族と翹仙族と呼ばれる民は、滅ぼされた光球界エルシャムリアからの避難者の末裔であり、闇洞界ボルドムへの恨みは深く、かつ、光球界においては中枢から離れた入門者的地位にあった集団であるため、その希薄な伝聞情報が語り伝えられるうちに変遷し伝承となり神話となり、年ごとの祭りの催しとして定型化された「物語」は、精確な史実からはかけ離れたものになっている。あくまでも「神話」であり「伝説」である…。

～ 「後世の歴史家」アグラ・ラン・アグラス 記 ～



[霧木里守⇄畑楽希有 \(はたら句きあり\)](#)

2015年6月7日16:08

魂の位。

微、虫、魚、畜、獄卒、

人、地仙、翹仙、飛仙、天仙、

幼神、若神、神、聖神、上神。

上つ神より更なる存在は、

いまだ人族の知り得るところではない。

-

★四界神話★ ☆ 創世～姉弟神の確執 ☆ (1985.08.03.)

---

[★四界神話★ ☆ 創世～姉弟神の確執 ☆ \(1985.08.03.\)](#)

2017年2月3日 [リステラス星圏史略 \(創作\)](#)

(1985.08.03.)

## ★四界神話★

☆ 創世～姉弟神の確執 ☆

いと高くきよらか（清浄）なる《センサリテヤ》（聖内界）にあ（生）れし、わか（稚）き神々、上つ神が一柱《ワ・マ》のもとに集いて日々歳々に神ながら（長成）の道をきわ（極）む。

《ワ・マ》は自在にして遍照、《センサリテヤ》（聖内界）に生れしよろず（万）の神々を慈しみ育む母なり。

《センサリテヤ》（聖内界）が界主は情たけ（熱）くして不動なる父神《デ・ラ》なり。

《センサリテヤ》（聖内界）にはあまた（数多）なる神々あり、また聖なる霊、精なる霊らも、気に満ち、地に満てり。

いちじつ（一日）、《ワーガ・ママ》（自在母神）は四柱の秀でたる若神を選び、幼き界卵を与えたまう。

若き神らおのおのに新たなる界主となりて界想を建て、界卵を育む聖なる霊を選び、従者たる精なる霊を選び、あ（生）れるべき神のひと（卵）らを運びて、育むべきわか（稚）き神々ら仙々らを、己が界に招請せり。

高貴なる四柱の若き神々は義姉弟神なり。

長姉リーシェンサラルは高潔、理知をもって知られたり。

次兄グァヒギルガスは勇猛にして創意あり。



次妹マライア又は情義厚くして友神さわにあり、共に携えて界を育む。  
末弟ティアスラルは陽気にして自儘なり。

姉神が自在母神より与えられし界卵は閉じた球をなす内球世界にて、名を《エルシャムリア》（究明郷）との（宣）る。

兄神が界卵は迷宮綾なす《ボルドガスドム》（炎闇空洞）なり。

妹神が界卵は伸びやかなる平盤にて、界想を献せし聖霊によりて《ダイレムアース》の名を受く。

弟神が界卵は開ける球をなし、《ティカーセラス》（球地世界）と呼ばれたり。

これら始原の四界は互いに隣接せり。

(草稿 & 没原稿)

---

(草稿 & 没原稿)

「人魚エルシャムリアと、ようせいたち」 (小6)

---

(アトランティスが海底深くしずむとき、) (小6)

2016年7月15日 リステラス星圏史略 (創作)

人魚エルシャムリアと、ようせいたち

(暗いまままくを上げる)

ナレーター：「昔、南の島にエルシャムと言う、人魚たちの国がありました。」

アラスジ。

ようせいにすくわれて北国へ行った人魚の王女が、大人になってから恋人とひきはなされ、うられる。

~~恋人も人魚だが足がある。~~

恋人はさからったために、海へつきおとされた。

王女も、あらしにあってしぬ。

次の朝、にじをわたって王女は空へのぼって行く。

ぜんまくとおして、人間にはわからない

ようせいたちが出てくる。

日の出、あらしなどは、

すべてO・H・Pと

ようせいのおどり。

...う～ん... (^ ^ ; ) ...

これ多分「エルシャム」(エルシャムリア)という単語の...初出...?

『 魔法の国の戦い 』 (@小学校4～6年?)

---

[『 魔法の国の戦い 』 \(@小学校4～6年?\)](#)

2007年6月7日 [連載 \(2周目・大地世界物語\) コメント \(1\)](#)

# 魔法の国の戦い

序章

## ダレムアスと三つの国々

はるか昔 四つの国あり

四つの国 治める 四人の神あり

四人の神は兄弟で、

宇宙の神の子であった。

四人の神はそれぞれに

別の世界を治めていたが

魔法を使い 行き来した。

一番上の姉君は

気高き女神 リーシェンソルト

治める国こそ エルシャムーリア

天使が暮す 気高き国よ

二番目兄君　ダーギング

世界でもっともおそろしき

ボルドム軍を指揮しておった

ああ　ボルドム軍こそ悪魔の国よ

三番　弟　アスールは

人間たちを　治めていたが

すごいよくばり　いばってた

最後の四番目　妹君が

治めていたのが　ダレムアス

妖精、人魚、魔法使い、

だれでもここに住んでいた

リーシェンソルトとダーギング

たいそう仲が　悪かった

ある時ダーギング 女神に聞いた

「姉君リーシェンソルトよ、

なぜ、私（わたくし）のボルドム軍を

エルシャムーリアより追いだしたのか？」

女神は答えた弟に

「私の国は天使の国、

そなたの家来の悪魔ども

いれるわけにはいきませぬ」

かくてダーギングの いかりは はげしく

ボルドム軍を けしかけて

貴（とうと）き エルシャムーリアを

一夜のうちに ほろぼした

しかしダーギングのいかりは おさまらず

なげき悲しむ姉君を

世界の果ての魔の山の

氷の室（むろ）に閉じこめた。

それ以来、

三つの国は つながりを通し

「時」は静かに歩（あゆ）んで行った。

悪魔はどんどん ふえて行（ゆ）き

ついに 地球まで占領したが

それでも まだまだ ふえつづけ

ダレムアスに魔の手がのびた。

かくてダレムアスに戦いは起こる。

## 序章 ダレムアスと三つの国々

今よりもはるかな昔、まだ人間が空を飛ぶ術を覚えていたころ4人の神々が世界を治めておりました。

そして4人は宇宙の神の名のもとに兄弟でありました。

一番上の姉君さまはその名も気高きリーシェンソルト あの方が治めておられたエルシャムリアの人々は、物静かで学問を好み、魚の足と鳥の翼を持っていました。

二番目の兄君さまは気性の荒い方で、あの方の率いるボルドム軍は悪鬼と化け物の集まりで悪魔と呼ばれておりました。

三番目の弟君はアスール様とおっしゃってティケの国を治めておりましたが毎日々々遊びほうけておりました。人々もそれにならい、ニンゲンと呼ばれておりました。

末の妹君は明るい方で、治めているダレムアスには生命（いのち）と活力がみなぎり、妖精や魔法使いが住んでいました。

さて、姉君リーシェンソルト様と兄君ダーギング様はもとよりいさかいがたえなかったのですがふとした事で戦いが起こり、エルシャムリアはほろぼされてしまったのです。

ダーリング様はそれだけでは気がすまず、

リーシェンソルト様に深い呪いをかけて

世界の果ての「魔の山」の氷の室に閉じこめてしまいました。

それから数え切れぬほどの年月がすぎました。

アスール様は事故で亡くなられニンゲンたちはおのれの欲にひきずられて、この世の良い事を全て忘れてしまいました。

そしてボルドム軍の仲間に加わる者もおりました。

ただ一人、ダレムアスの平和を守る事ができた

妹君ドリーム・フェアリー姫は地球（アスール）やボルドムと行き来する事をやめ幸福な一生を暮らし1000年...





[『 魔法の国の戦い 』 \(@小学校高学年\) 2](#)

2006年7月1日 [連載 \(2周目・大地世界物語\)](#)

はるか昔、

四人の神あり、

四人の神は兄弟にして、

宇宙（あま）の神の子であった。

四人の神は それぞれに

別の世界を治めていたが、

魔法を使い、行き来した。

一番上の姉君は

気高き女神 リーシェンソルト

治める国こそエルシャムーリア

天使が暮らす気高き国よ。

二番目兄君 ダーギング

世界でもっともおそろしき

ボルドム軍を 指揮しておった。

ああ ボルドム軍こそ悪魔の国よ

三番弟 アスールは

人間たちを治めていたが

すごいよくばり、いばってた。

最後の四番目妹君が

治めていたのがダレムアス

妖精、人魚、魔法使い、

だれでもここに住んでいた。

リーシェンソルトとダーギング

たいそう仲が悪かった。

ある時、ダーギング、

女神に聞いた

「姉君リーシェンソルトよ、

なぜ私（わたくし）のボルドム軍を

エルシャムーリアより追い出したのだ？」

女神は答えた弟に、

「私（わたくし）の国は天使の国

そなたの家来の悪魔ども、

入れるわけにはゆきませぬ。」

かくてダーギングのいかりは はげしく

ボルドム軍を使いて

エルシャムーリア せめほろぼした

しかしダーギングのいかりはおさまらず

なげき悲しむ姉君を

世界の果ての魔の山の

氷の室（むろ）に閉じこめた。

時の流れは ゆるやかに

長い年月（としつき）運んで行った。

## 『四国神物語』 概要 （中三）

---

### 『四国神物語』 概要 （「中三」、とノートの表紙に書いてある☆）

2006年6月2日 [連載（2周目!・上古神代～水の大陸）](#)

まずエルシャムリアがボルドム軍によって滅ぼされ、リーシェンソルトはグアヒギルグを避けて永き眠りについた。

マリアンドリーム of 悲しみは深かったが、なおも兄を憎むことはせず、ボルドムともしげく通じていた。

しかし、やがてアスールミルがグアヒギルグの甘言により享楽にふけて民を顧みないようになり、挙げ句の果てにティクトの反乱で落命した。マリアンドリームもこれを嘆き、ボルドムントをダレムアスの地より追い出し、国をとざした。

グアヒギルグは妹君をなだめようとして、捕らえていた多くのエルシャマーリャやティクタトックを引き渡したが、彼女が許そうとしないのに怒って武力を持って攻め入った。

その時の戦いで、ダレムアト最初の長寿人であり女神マリアンドリームと結婚していた一人の騎士が命を落とし、それを見たマリアンドリームは大地の剣でグアヒギルグを倒した。

その後、マリアンドリームはダレムアスの統治を二人の子ども達の手ゆだね、不老不死なる命を捨てて、大地の奥深くに根をはる火の山の火口に身を投じ、母なる大地と同化した。

『アトル・アン古伝説写本』 (高校/たぶん文芸部時代の原稿)

2006年6月6日 [連載 \(2周目!・上古神代～水の大陸\)](#)

1.

それ故に昔語りを始めよう。そもそもの初源の四界、父神なるティアスラアルには三柱の姉神・兄神ありき。それぞれに大いなる上つ位の神より、治むべき《星々の空隙》を賜る。

長姉なるリー・シエン・サラルト、閉じたる球の空に光を満たし、天上人これに住まい、共に更なる高みを追いし。この閉じたる球の空をエル・シャ・ムー・リア。《至高なる夜の守りの内包せし世界》と、人々呼びし。

長兄なるグア・ヒーギル、またの名を男神ガル・ギン、閉じたる地の洞の世界に火の灯り付け入れ、その思いのままに、力有り、さま異なりし生ける者を種々多く造り給う。《閉じたる狭き地の洞》、バール・ド・ガスダームと、人々呼びし。暗き地の火灯りより魂なくして使役せらるる鋼の命、造りし。

《開けし球の地》のティアスラアルが直ぐ上なる姉の世界、ダイ・レム・アースル、《開けし大地の国》と言ひし。女神なるマライアヌディアドライム、そが世界を治めし。《大地に生ける者》、ダレマース、産み、慈しみ、し給う。

” 上古にありし四世界” (たぶん高校1年?)

---

[” 上古にありし四世界” \(たぶん高校1年?\)](#)

2015年11月13日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(1\)](#)

上古に存りし四世界  
治めし神々 四柱

姉神なる国 理念を追いて  
光り輝く閉じたる球の  
内に平和に住みなせり

上古に存りし四世界  
治めし神々 四柱

上古に存りし四世界  
治めし神々 四柱

兄神なる国 我欲を追いて  
暗火燃えたる閉じたる洞の  
内に争鬪 絶えざりし

上古に存りし四世界  
治めし神々 四柱

上古に存りし四世界  
治めし神々 四柱

妹神なる国 自然(じねん)を追いて  
陽光降りしく開けき大地  
上を豊かに耕やせり

上古に存りし四世界

治めし神々 四柱

上古に存りし四世界

治めし神々 四柱

弟神なる国 気儘を追いて

星々めぐる開けき球の地

上を各々相さすらう

上古に存りし四世界

治めし神々 四柱



『 リースウェンサラルノート 』 (@1983.10.08.以降。

---

『 リースウェンサラルノート 』

(@1983.10.08.以降。何故かARCADIAのノートに書いてあったやつ☆)

2006年7月30日 連載 (2周目・大地世界物語)

彼らの間を結んでいる精神的きずなにもっとも近い間柄を求めるとすればそれは《姉弟たち》という言葉であっただろう。彼らはかつて4人おり、今では残るものは2人になっていた。始源の世にあってリーシェンソルトとマライアヌと呼ばれていた、2柱の女神たちである。はるかに年長である姉・リースは妹を確かな信念から教導し、女神マリアンは師でもあるその相手を深く敬愛し、敬慕していた。

彼ら4姉弟が——女神リーシェンソルト、男神グアヒギルグ、女神マライアヌ、男神ティアスラル、の4柱が——2女神に減じるまでには長い複雑な経緯がある。とまれ、現時点で彼女たちは隣りあう次元に位置する銘々の世界を持ち、それを管理するという仕事を持っていた。しかし決してそれは容易なものではなく……なんとなれば2つの世界の住民・人間たちは悲常にやはらかな未熟な精神の持ち主であり、しかもひとつの巨大な力、《樹》という言葉に象徴される存在の思念波の影響をうけつつあったのである。

## 1. 創界記－四界神話－ (2009.03.27.)

---

### [1. 創界記－四界神話－ \(2009.03.27.\)](#)

2016年7月13日 [リステラス星圏史略 \(創作\)](#)

#### 1. 創界記－四界神話－ その1.

四界を創始したのは四柱の神々であった。

四神はまた、上神界センサリテヤに属するうちの、最もすぐれた若き神々でもあった。

##### 1-1. 第一界（天空界）~~（閉球界）~~~~（鎖球界）~~

（空球界）⇒（閉珠界）

（虚空界）⇒（閉球界）

四柱の神々のうちの長たる神は、

長姉、また姉神とも呼ばれるリースヘンセエン・サラルトアルテス、

後の世には~~リースヘンソルト~~として知られる

若く美しくそう明なる女神であった。

~~金糸の髪、白珠の肌、青玉の瞳、背なには翼。~~

調和と謙譲を愛し、智慧と学識を愛する、

姉神リースは、そのように界を創った。

長姉界エルースアマリアは叡智の国、また天空界とも呼ばれ、

金糸銀糸の長き髪、白珠の肌に翼もつ、ろうたけてかしこき神々、また聖なる人、仙なる人々、

自由なるけものたちが、あまた集いて界を育てた。

その居所は白銀の光みてる閉鎖せる球形の界であった。

一切の悪しき者、またおろかしき者は、けしてその界内へ足を踏み入れること、かなわぬのであった。

2009.03.27.

## 1. 創界記－四界神話－ (その2)

---

### [1. 創界記－四界神話－ \(その2\)](#)

2016年7月13日 [リステラス星圏史略 \(創作\)](#)

#### 1. 創界神話－四界神話－ その2.1

##### 1-2. 第2界 (地洞界) ー(闇洞界)ー

四界の二、地洞界なるボルダムガスダムを率いたのは長兄、また兄神とも呼ばれる男神グアヒギルガスグアであった。

漆黒の髪、闇黒色の双瞳、黒檀の肌もつそう身長く男神は、その性、残忍にして傲まん、にして武力と術策かけひき陥穽、権謀を愛した。

かの地洞界に棲む者たちもまた、それをま七是とする獣人たちが主であった。

男神グアヒギルはまた創界に際して別れ棲む以前より姉たる女神リースェンによこしまなる恋慕をいただき、また界土をひろげんとする望みからも、かきねて姉神に婚姻を迫ること度々であった。

姉神はこれを忌み、また地洞獣人たちらの野蛮粗暴なるを憎んで、おのが閉空界の四圍に強固なる聖壁をきずき、彼らと男神グアヒギルとの出入りを固く禁じた。

男神はきつく怒り恨んで、軍勢をひきいて閉空界へと攻めのぼり、たちまちのうちにこれをとうじんし焼き滅ぼしてしまった。

女神リースェンはまさに手ごめにされんとし、これを拒んで自ら帰天すの道をえらんだ。永き眠りの途についた。

## 1. 創界記－四界神話－ (その3)

---

### 1. 創界記－四界神話－ (その3)

2016年7月13日 リステラス星圏史略 (創作)

#### 1. 創界記－四界神話－

##### 1－3. 第3界（無窮界）－(平地界)－（地閉界）

四界の第三なる界は、女神マライアヌディアドライマによりはじめ無窮界と名づけられた。あらかじめ型を定められることなく、住まう者、またよりくる神々や産まれ来る界者達の望みによって、無限に広がり、また変化する成長し続けるようにとの願いによるものであった。

妹神とも呼ばれる女神マライアヌは、豊かに波うつ腰ながの緑髪に、また碧玉の瞳、バラ色の頬もつ、ほがらかに歌い躍り、また笑いころげる、よく食べる女神であった。

技芸と友愛と、またいささかのわるふざけと、盛大なる酒宴を好み、かの女神の招請にこたえてより集い、創界期に参画した神々、また仙なる獣や草木たちも、またひとしく、舞曲や遊ぎを好み、恋や友愛に心くだく者たちであった。

女神マライアヌはまた姉神リースエンの思慮深く慈愛あまねき高潔なる教えに深く帰依するものでもあった。

ために、一日、長姉界の長兄軍により滅せらるるを聞き、長姉リースエンの無念の最期を知りて怒りに我を忘れ、自ら単身、闇洞界におもむき、兄神をきつくなじった。

兄神はこれを不興とし、妹神を力もて追い、さらに無窮界に全軍勢をあげて攻め入りじゅうりんし果てた。

やがて、おのが界の滅亡にひんした妹神は、全力をあげ全界を尽くしてよく抗したが、ついに万策つきて上神界センサリテヤよりの裁定をたのみ、上月神レリナルによって両界のあいだに停戦壁が築かれた。

ために第四界はその名の由来の無限性を失い、これよりのち、その残された形状により、たんに大地界とのみ呼ばれることとなった。

090329

## 1. 創界記－四界神話－ (その4)

---

### 1. 創界記－四界神話－ (その4)

2016年7月13日 リステラス星圏史略 (創作)

#### 1. 創界記－四界神話－

##### 1－4. 第四界(泥珠界) (岩洞界) ⇒ (泥球界)

四界の第四なる界の始めを託された末弟神は、しかし無策のままこれを放置した。ただ岩れきのかたまりを集め積み重ねていびつなる岩洞界となし、これを虚の海の中にただ置き、ころがしたのである。

岩の群れはころがりころがり、砕け、また集まりながら、あい互いにいさかいたまた和合し、次第に意思もつ石となりて軽重大小の別などをつけていったが、末弟神はただ距離をおいてながめているだけで、何ひとつ彼らに対してなぞづしはしなかった。

界人たちの前にいちどたりとも姿をあらわすことのなかったこの神の姿は、ために伝えられておらず、ただ名のみを無情神ティアスラアルと呼ばれるのみである。

さて長姉界を長兄神が犯し、ために姉神が滅し妹神がこれを責めて長兄と断絶せんとせし時も、末弟神はただ困り果てたという顔で、これをただ傍観しているのみであった。

やがて長兄軍が妹界をも侵し、かの界の界下神たる水司神が戦乱のうちに落命した際にも、末弟ティア神はただながめているのみであった。

界水の司神を失った無窮界より、界を接する界下の岩洞界へと、巨き凍てつける水の塊がなだれて落ちた。

水滴と氷塊のひまつとなだれを浴びた岩界は岩人もろとも粉々の岩れきとくずれ、再びよりどりで集まった時には、泥球界と呼ばれるありさまとなっていた。

そして末弟神は、ただそれを見ていた。

見あきることも見ほれることもなく、ただただ、それを見ていた。

p4.

[服を着て、原稿を書きなさい。](#)

2015年5月24日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(3\)](#)

ちよっくら「埋もれた神話」を発掘作業中...☆

<http://76519.diarynote.jp/200603262239370000/>

<http://76519.diarynote.jp/200606020148110000/>

『 THE CONTENTS 』

～ HerStory of Lis-Teras nebula ～

【 Sub Contents 】

【 Overview 】

- |            |                           |
|------------|---------------------------|
| 0. 四界神話    | 大地の東の飛仙族はこのように語り継ぐ。       |
| 0-1. 上古神代  | 普遍自在神マンマワァガは、転生霊界を主宰する。   |
| 0-2. 転生司神  | 新たな魂群の揺籃として、新しい世界の卵を用意する。 |
| 0-3. 新神推挙  | 新たな界を司るため、若き神々から主神達を選ばれた。 |
| 0-4. 姉神世界  | 姉なる神リスシェンサラルは学識と研鑽を好む。    |
| 0-5. 兄神世界  | 兄なる神グァヒギルグは武芸と競争を好む。      |
| 0-6. 妹神世界  | 妹なる神マライアヌディアは技芸と舞踊を楽しむ。   |
| 0-7. 弟神世界  | 弟なる神ティアスラルは何もせず、ただ眺める。    |
| 0-8. 邪恋乱心  | 兄が姉を愛した。拒まれて逆上し、諍い、憎んだ。   |
| 0-9. 大地蹂躪  | 妹が兄を停めた。兄の軍が妹の世界を襲った。     |
| 0-10. 境界封鎖 | 上神レリナルが調停した。四界の壁は閉ざされた。   |



[姉なる女神の治める界は《光球界》と称される。](#)

2015年6月13日 [リステラス星圏史略](#) (創作) [コメント \(7\)](#)

『 THE CONTENTS 』

～ HerStory of Lis-Teras nebula ～

【 Sub Contents 】 【 Overview 】

- 0. 四界神話 大地世界の東に棲む飛仙族このように語り継ぐ。
  
- 0-1. 上古神代 かつて在り、いまも在り、常に在る世界の物語。
  - 0-1-1. 転生霊界 普遍自在神マンマワァガは転生霊界を主宰する。
  - 0-1-2. 転生司神 魂とは転がり生まれ変わり成長する存在である。
  - 0-1-3. 転生界成 新たな魂の揺籃として新しい世界卵を用意する。
  - 0-1-4. 四界同堂 新たな試みとして卵の界は四つに分かたれる。
  - 0-1-5. 新神推挙 若き神々から新たな界を司る主神達を選ばれた。
  
  - 0-1-6. 姉神世界 姉なる神リィシェンソルトは学識と研鑽を好む。
  - 0-1-7. 兄神世界 兄なる神グァヒギルグは武芸と競技闘争を好む。
  - 0-1-8. 妹神世界 妹なる神マライアヌディアは技芸舞踊を楽しむ。
  - 0-1-9. 弟神世界 弟なる神ティアスラアルは抜擢を恐れ畏み断る。
  - 0-1-10. 再度神請 マンマワァガ再度ティアスラアルに主宰を命ず。
  
- 0-2. 学究研鑽 姉なる女神の治める界は《光球界》と称される。
  - 0-2-1. 合議討論 若き神々らが集い一卵四界案の是非を討議する。
  - 0-2-2. 選主禪定 四界の推奨者リーシェンソルトが主神と定まる。
  - 0-2-3. 創案造営 都の概要が定まり若き神々が創造にとりかかる。
  - 0-2-4. 光輝都城 壮麗なる都、光輝球《エルシャムリア》と称す。
  - 0-2-5. 推挙招聘 知識と叡智を求める者に参集が呼びかけられる。
  
  - 0-2-6. 文化文明 古今東西のあらゆる文化文明の情報を学ぶ都城。
  - 0-2-7.

0-2-8.

0-2-9.

0-2-10. 統合学派

0-3. 適者生存 剛毅なる者こそ生きるに適す正しき存在である。

0-3-1. 王神推挙 強者集い王を定め一卵を求め普遍自在神に請う。

0-3-2.

0-3-3.

0-3-4.

0-3-5.

0-3-6.

0-3-7.

0-3-8.

0-3-9.

0-3-10.

コメント



[霧木里守≡燭楽希有（はたら句きあり）](#)

2015年6月13日11:35

心靈魂魄

死生命数

粒玉塊群

文化技芸

統合学派



[霧木里守≡燭楽希有（はたら句きあり）](#)

2015年6月13日15:52

粒玉滴星？

(設定資料)

---

(設定資料)

## 「各人種設定表」(1) (「中三」)

---

### 「各人種設定表」(1) (「中三」、とノートの表紙に書いてある☆)

2006年6月4日 連載 (2周目!・上古神代～水の大陸)

#### ダレムアト

形態 完全な人間型。

寿命 500～800年ほど。(ダレムアス上で)。

色 肌は、白桃から、カカオ色まで。

髪・目は、ほぼ地球人と同じだが、緑・赤・青・灰色などが加わる。

生活 地域、国ごと色々あるが、多くは農耕・狩猟民である。また、魔法使い、祭司などもある。

文化 地方によって言語も風習もまったく異なるが、多くは大地と精霊の魔法を使い、女神伝説に基づいて生活している。国ごとに王・法王・領主などが統治し、女神の血をくむヤーン王朝が最高の力を持っている。科学なし。

#### エルシャマーリャ

形態 翼がある。他は人間と同じ。背がすごく高く、ほっそりとしている。

寿命 成熟度による。5000～10000年ほどが普通。

色 肌は雪白。髪・目は金・銀がほとんど。

生活 全員が全員、何かの研究にたずさわり、究極を求めている。

文化 言語は天上語(エルシャムシー)一種類。光と空間の魔法と、科学・化学。

#### ボルドムント

形態 ほぼ人間型。耳がとがったり、角やしっぽがあったり、細部は人によって雑多。

寿命 天寿をまっとうしたもの無きため不明。

色 雑多。

生活 弱肉強食。自墮落で、力が法になる。魔王に支配され、弱い者は虐げられる。反理想郷。

文化 雑多な地方言語。芸術は無し。闇と悪魔の魔法を使う。

#### ティクト

形態・色は御存知の通り。

寿命 50～100年。

文化 科学、化学。雑多な地方言語。

#### エルフ

形態 人間型。たけ高く、すらりとしている。羽があるという人もいるが不明。

寿命 4000～5000年（らしい）。

色 はっきり形容できない場合が多い。

生活 長時間、空を飛び続けられるので、行動範囲が非常に広い。どこかに一族の住まいがあるらしいが不明。また、各地の宮殿に剣客や相談役として滞在していることも多い。

文化 大地と空の魔法。

四界神。（中学2年の落書き）

---

「...ひょっとしてリーシェンソルトのつもりだったりして...！！（汗）」（中学2年の落書き）

2015年11月13日 リステラス星圏史略（創作）



エルシャムリア リーシェンソルト 科学・光の魔法 究極を追求。

ダレムアス マリアンドリーム 大地の魔法、その他、不思議な力。

地球（ティケ） アスール 科学。

ボルドム ダーギング 闇の魔法。

「...ひょっとしてリーシェンソルトのつもりだったりして...！！（汗）」

四界神。（中学2年の落書き）

2015年11月13日 [リステラス星圏史略](#) (創作)



[女神たち。](#) (中学2年の落書き。)

2015年11月13日 [リステラス星圏史略](#) (創作)





四界神。 (1995年頃の落書き)

---

リーシェンソルト神。(1995年頃の落書き)

2015年11月13日 リステラス星圏史略 (創作) コメント (1)



《Leeshen-Sault》

グアヒギルグ神。(落書き)

2015年11月13日 リステラス星圏史略 (創作) コメント (1)



《Gua-hi-gird》

[ティアスラアル神。 \(1995年頃?の落書き\)](#)

2015年11月13日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント\(2\)](#)



マライアヌディアドライム神。(落書き)

2015年11月13日 リステラス星圏史略 (創作)



(恋慕は一種のカルマである。)

[『リクエスト?のあったフェルに一ちゃんの話』 \(@1995.11.08.以前、なのは確か。\)](#)

2006年7月20日 [連載 \(2周目・大地世界物語\)](#)

大地世界(ダレムアス)は実はよく考えたら私が持っている唯一のファンタジーワールド(大きいのはこれだけ。小さい亜空間レベルは幾つかあるが)だし、単純に「未来社会」または「宇宙空間」という設定しかなかったエスパに比べ、一から自分の好み(理想)通りに造りあげようとした最初の世界でもあるので、結局のところ選択肢と迷いと願望が多すぎて、いまだに実態が固定化していない。ので、と一ぶん書けないのである、と、つい今朝がた気がついた。他のファンタジー世界を創造して、「そこでやりたいこと」を振り分けて整理しないと設定が固着できないだらうなこれは★

今たまっている机の上のワープロの仕事2件(.....と書いていたら電話が鳴って、さらに急ぎのテープ起こしが1件増えてしまった★.....工事の騒音は、いつ終わるんだー?! )と、それを理由にさぼり続けている書類の整理が片づいたら、『リステラス星圏史略』という話のアラスジに手をつけて明美ちゃんを悩ませー!とか考えてはいるのだが、ダレムアス物語は、その1部(導入部?)を占めるのである。(ファイブスター物語を読み始めたけどズルイぞあれはー! あーんないっかげんな描き方で読者がついてきて商業ベースに乗るって言うなら、いつでも私だってプロになったるわい!)

.....じゃなくて、ダレムアスの話。(.....しかし大工さんがウルサイと言って、仕事も読書もできない(やらない)くせに、なぜこういう話は書ける...? とか言ってるうちに、またもう1枚タミはがすからとか言って、タンスまで移動した.....!

ガウガウ~!)

大地世界。ダレムアス。ダイレムアースとかディレマスとか“誰夢明日”(たれかあすをゆめみん)とか、言語によって色々な呼ばれ方はしている。上古代に4柱の兄弟姉妹神によって創られた隣接する4世界(当初は亜空間。のち、時空震の影響で通常空間に次元落ちした)のうちの1つで、妹であるマライアヌ女神(ディアドライム)(別称は慈母の夢マリアンドリーム)の主導によって創造された。彼女を補佐した神々が主だった者だけで9柱?あり、生物層や社会体制については立憲君主制というか、合議制に近い設定だった。

この点で、主導神のほとんど独断で造営された、姉神リーシェソルトの天球界(エルシャムリア)、兄神(名前忘れた★)の地洞界(ボルドガストム)、弟神ティアスラルの地球界(ティカーセラス)とは、一線を画している。4界の下位の神々や住人たちは当初は平和裡に往来していたが、主神同士のあいだに諫かいが生じるに及んで次第に疎遠になり、接点(次元通路)を残

して国使のみの訪問となり、やがて戦乱の時代を経て街道は完全に封印され、互いに伝説の彼方へと忘れ去ることになった。

この主神たちの諫かいについては、兄神がみずからの民をたわむれに造りまた殺すのを楽しみとしたこと、弟神が創界なかばにして飽きてしまい生物層を混乱のままに放置したこと、この2点を姉神が厳しく非難したことを、主な要因とする。兄神は長姉であるリーシェンソルトに邪恋を抱いてもおり、うるさい口を黙らせついでに我がものにせんとして、異形の民を創造して軍を編成し、天球界に攻め込むに及んだ。安寧きわまりない学究都市であった天球界の民の大半は消滅し、姉神リーシェンソルトはこれにより界の閉鎖を宣言し、結界を築いて休眠してしまう。これより4界は3界となり、互いにバラバラな歴史を築くこととなった。

兄姉あるいは弟妹（ていまい）またはごく親しい者への一方的な恋慕は、この4界に繰り返し現れる一種のカルマである。大地世界の女神マライア又は被造物であるはずの民の一人との恋に陥り、自ら定めた法（寿命の差がありすぎる異族間での婚姻を結んだ者は、短命な側の死とともに帰天（ゲームオーバー）しなければならないという始源の法定が大地世界にはある）を遵守せんがために、人族の命数に殉じて歴史のなかばにして帰天したが、その物語には当初の許婚者と見なされていた男神（副神）（パートナー）が、女神の悲嘆を愁えるあまり、恋敵である人間の男をかばって先に落命したという逸話もある。

主神・副神の2柱をとともに予想外に早く失った大地世界は、その後、女神と人間の男とのあいだに生まれた半神女マリステアの子孫（皇族）を統治者として、長くゆるやかな歴史をつむぐこととなる。

創造なかばにして主神を失った大地世界は物理法則？の長である大地の女神が生物種の後見をも兼ねることとなったが、自然界の精霊らを統治する存在である大地母神は人界の歴史に介入することは殆どなかった。ダレムアスの界（大地）はいまだ成長期にあり拡大を続けており、人族の築いた集落や都邑どうしが次第に遠距離に散らばっていくに従って、神都に住まう皇族の統治は及び難いものになり、また、4界争乱時の移民（難民）である異族らはそれぞれの王を仰ぐことを好んだ為、大地の民としての一体感は失われていく。

やがて「遠方に離れた民を見捨てるのか」と、神都皇族の怠慢に憤った皇子の一人が西方の砂漠地帯に西（モルナス）皇朝を築き、その心情に同調する国々と、神都の権威を無視する行為と憤った都市群との間で戦闘（とは言え大地世界のそれは“こぜりあい”程度）が起こった。ダレムアス唯一の内乱時代である。数世代の混乱を経て、神都皇族は全土の統治に都合のよい平野部への遷都を決意し、街道沿いの沃野に聖美白都（ルア・マルライン）を築く。西（モルナス）皇族は白都（マルライン）皇族の権威を預かる存在と定義づけられ、西方の民のよりどころとなる。皇族同士の根に残った反感をやわらげる為、いずれ双方の皇族からふさわしい許婚者を出して、分

かれた血族を再び統一するものという約束を残して……。

やっとフェルに一ちゃんが出たぞ。

飛仙の一族はもともと天球界（エルシャマーリャ）の住人であり、争乱の衝撃にも帰天することなく耐え、女神リーシェンソルトに殉じて眠りにつくことも安楽としなかった、天球人としては異色の根性すわった人々の子孫である。とは言えダレムアスや地球の一般人から見ればはるかに思索的で穏やかで高尚な連中である。

地球へ移住した同族たちは“精霊”（ファミコンで言うハイエルフの方。『指輪物語』では森の精霊（シルヴァンエルフ）とも）“神仙”などとも呼ばれ、また南米大陸では「海の向こうに去った白い神々」の伝承のもとともなった。

日本と呼ばれる島国に争乱時代より前に移民（婿入り？）した者たちの末は善野（おおの）に子孫を残し、白鳥天宮（しらとりてんぐう）（白色天狗）の名で祖神として奉られている。余談だがダレムアス（皇女戦記）シリーズの主要キャラである“地球人”翼 雄輝（つばさ・ゆうき）（このナマエ変えようかー★）はこの直系の当主一族の最後の生き残りであった。

大地世界においては北東部の広大な森林地帯を占有？しており、大地の民の崇敬を受けてはいるが、あまり人界に関わることはない、謎の存在でもある。

（以下、『山百合と銀の楡』ファイルに続く。）

『リステラス星圏史略』 年代記+[物語]タイトルリスト 一。

2000年1月2日 リステラス星圏史略 (創作)

1. 四世界時代 (『創界神話』 『四界門書』 『四世界物語』)

1-1. 四世界始まる。

1-1-1. 天球界 (エルシャムリア)

1-1-2. 地洞界 (ボルドガスドム)

1-1-3. 地球界 (ティカーセラス)

1-1-4. 大地界 (ダイレムアース)

1-2. 四世界分裂する。

1-2-1. 地洞界、天球界を滅ぼす。

1-2-2. 地洞界、大地界に攻め入る。

1-2-3. 大地界、界境を閉じる。

1-2-4. 地球界、われ関せず。

1-3. 地洞界……『滅びしものの夢。』



(借景資料集)

---

(借景資料集)

[魔神、悪魔、女悪魔、極悪の女悪魔。\(参考資料\)](#)

2015年11月13日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(1\)](#)

魔神（デーモン）、  
悪魔（トイフェル）、  
女悪魔（トイフェリン）、  
極悪の女悪魔（エルツトイフェリン）。

・女神ヴェヌスはその神殿が破壊された時に秘密の山の中へ、陽気で無頼な空気の精や森のニンフ、水のニンフなどと共に逃げ込んで、歓楽の生活をおくっている。その山の入り口には老騎士が歩哨に立っているが、彼の警告を無視して呪われた快樂の深淵におちこむものもいる。

『しばらくのあいだはうまくいく。けれども人間はいつも陽気に笑ってばかりはいられない。口をつぐみ、まじめになることもたびたびあるし、過去を振りかえることもある。なぜなら過去は魂の本来の故郷なのだから。

魔法を能（よ）くする。

『流刑の神々』より、

・巨人（ティタン）神族  
天（ウラノス）と地（ガイア）から生まれた男女十二神。オリュンポス神族以前の原始の神々である。

（※まだコピー機が無かった時代の、図書館で借りた本の手書き抜き書き資料。ものしらずの中学生のやることだから、当然、出典不詳...☆）



(旧) (あとがき)

---

☆ (とりあえずこの巻は作業終了) ☆

あまりにも自覚と記憶をはるかに超えて、大量の書き損じが発掘できてしまって、作業が困難になってきたので、順次、分冊化します...

...w (^ ^ ; ) w...

リステラス星圏史略  
古資料ファイル  
0-2  
( 四界神話 )

<http://p.booklog.jp/book/102553>

著者：霧樹里守 & 土岐真扉  
( きりぎ・りす & トキ・マサト )

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/masatotoki/profile>  
<http://85358.diarynote.jp/profile/>

感想はこちらのコメントへ  
<http://p.booklog.jp/book/102553>

ブックログ本棚へ入れる  
<http://booklog.jp/item/3/102553>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)  
運営会社：株式会社ブックログ